

新興感染症感染拡大防止に向けた地域プラットフォーム形成シンポジウム

第13回ワークショップ事後アンケート 集計結果

2025年3月

公益財団法人 全日本科学技術協会

このたびは、「新興感染症感染拡大防止に向けた地域プラットフォーム形成シンポジウム」第13回ワークショップにご参加くださりありがとうございました。

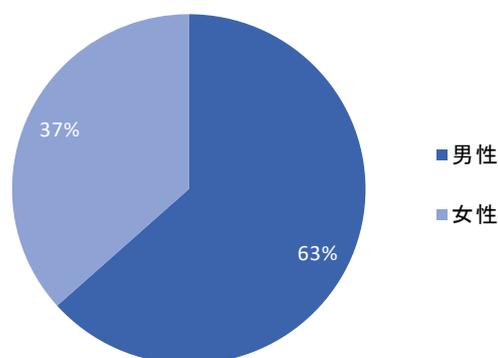
JARECは、これからも必要な感染対策など「PREPAREDNESS」について考え、広域・産学官連携してのネットワーク構築の「場」として、ワークショップを開催して参ります。

つきましては、本アンケートへのご協力をお願い致します。

事後アンケート（回答総数 71名）

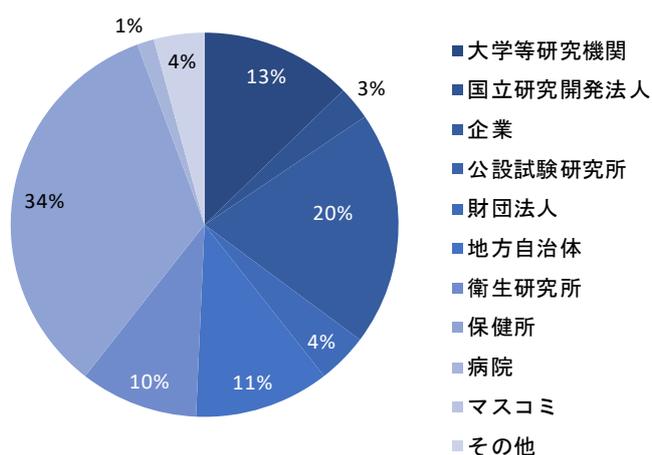
* 性別

	回答数	構成比
男性	45	63%
女性	26	37%
計	71	



* 所属区分

	回答数	構成比
大学等研究機関	9	13%
国立研究開発法人	2	3%
企業	14	20%
公設試験研究所	0	0%
財団法人	3	4%
地方自治体	8	11%
衛生研究所	7	10%
保健所	24	34%
病院	1	1%
マスコミ	0	0%
その他	3	4%
計	71	

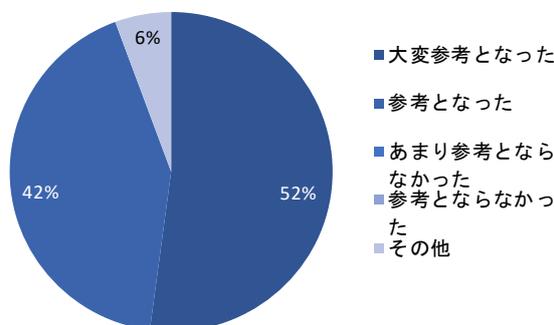


1. 基調講演について伺います。

「大学附属病院における新型コロナウイルスの感染症対応」
横浜市立大学附属病院 感染制御部 部長 加藤 英明 氏

1-1 横浜市立大学附属病院の加藤先生には、地元の大学病院として感染者の受け入れにあたって院内感染対策を確立し、その後の市中感染症として行った対応について講演頂きました。講演内容は、現在および今後のご活動において参考となりましたか。

	回答数	構成比
大変参考となった	37	52%
参考となった	30	42%
あまり参考とならなかった	0	0%
参考とならなかった	0	0%
その他	4	6%
無回答	0	—
計	71	



<その他の意見>

- ・ 不意な新興感染症への対応を最前線で指揮された先生の貴重なお話はどれも刺さりました。現場の空気感も知れて良かったです。
- ・ 新型コロナウイルス流行初期から流行が拡大した時点の病院で起きていたこと・対策が明確に分かり興味深かった。未知の感染症に対する対策が非常に参考になった。
- ・ 感染症パンデミックへの初動対応から終わりへの向き合い方を伺い、次の感染症危機に備える上で大変参考となった。コロナ 2 類の時の話だけでなく、今がどうなのかについて、非常に意味のある考察をいただきました。
- ・ 医療部門としては、新型コロナは終わっていないこととのご発言、「こんなに大変だった&まだ終わっていない」が、よくわかりました。
- ・ 「新型コロナウイルス」 Covid-19 の詳細な状況の理解が深まりました。新興感染症は、継続して発生すること、その対応など知見が深まりました。
- ・ 全職員が一定レベルを満たす仕事ができる仕組みづくりが、崩壊を防ぐために重要と改めて感じた。加藤先生の「コロナは肺の病気ではない」という言葉がとても印象に残りました。私自身、高齢者施設や学校からの集団発生報告に対応しておりますが、何度も繰り返される集団発生に諦めの気持ちを持っていました。しかし、long covid 等を考慮するとやはり正しい感染症対策について知識の普及や指導を諦めてはいけないと再認識できました。貴重なご講演、ありがとうございました。
- ・ コロナ以後の感染症対策がどのようになっているかが分かった。コロナ対策の経験が繋がっていると感じた。
- ・ やはり 5 - 10 年ごとに新たな感染症が流行するため、備える必要があること。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の現場の状況がよく分かった。
- ・ 新興感染症に対する平時からの備え（決断力）
- ・ 医療側からの感染症の見方、対応などとても勉強になりました。
- ・ COVID-19 対応に関し、現場での具体的な課題等が理解できた。
- ・ 海外の文献を読む大切さや、今後必ず来る新興感染症への心構えが印象に残りました。
- ・ 新型コロナの症状、対応の現在が興味深かった。

- ・ 病院内での対応など具体的でわかりやすかったです。
- ・ コロナの現状と対応、初期対応の現場を知ることができたこと。
- ・ COVID-19 の病態としての位置づけ
- ・ ワクチン接種の必要性と大規模な新興感染症発生時の初動内容
- ・ 発生早期における院内体制の立ち上げ

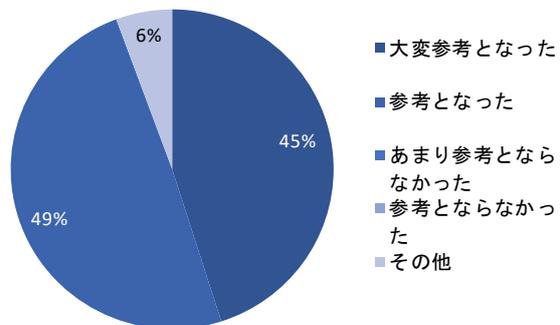
「平時対応から災害対応への転換 —地域の医療体制をまもるために何を優先すべきか?—」

横浜市立大学大学院 医学研究科 救急医学講座 主任教授／

高度救命救急センター長 竹内 一郎 氏

1-2 横浜市立大学の竹内先生には、2020年2月に発生したダイヤモンドプリンセス号での集団感染に対し、横浜市独自の危機管理組織「Y-CERT」を設立した過程を解説頂き、その医療責任者として医療資源の最適配分を実現した事例を踏まえ、持続的な医療危機管理体制の必要性について講演頂きました。講演内容は、現在および今後のご活動において参考となりましたか。

	回答数	構成比
大変参考となった	32	45%
参考となった	35	49%
あまり参考とならなかった	0	0%
参考とならなかった	0	0%
その他	4	6%
無回答	0	—
計	71	



<その他の意見>

- ・ 通常モードと災害モード、需要と供給などの対比でお話いただいたので、大変にわかりやすかったです。
- ・ コロナ禍に関しては様々な批判や不満が各方面に飛び交っておりますが、竹内先生のお話をもっと国民に浸透することを願います。
- ・ 地域の医療体制を守るために、何を優先すべきかに関する迅速かつ適切な判断について、わかりやすく御説明いただき、大変参考となった。
- ・ パンデミックと言う今まで一般人には経験したことのない状況下にあっても DMAT の関係者は過去の経験から今回のコロナパンデミック下においても、冷静に対応して下さったことが良く分かった。また、その冷静な対応を順序立てて遂行することの重要性が理解できた。その時に迅速な検査方法と早期ワクチン対応の重要性を改めて認識した。
- ・ 医療資源が不足した状況下における非常に大きな課題を見ることができた。病院医と一般医が協働する体制構築の検討が必要と感じた。
- ・ 医療の需要と供給のバランスから、状況によって災害医療として対応することで、通常の医療破綻を防ぐことに繋がる、ということを知ることができた。
- ・ 政令市という組織の特性（組織横断的にとりくみやすい）、平時の人脈の活用などは、役割分担しつ

つもリーダーシップをとる立場を検討するのに有用であった

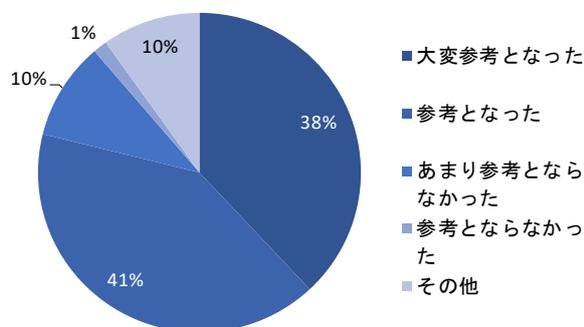
- ・ 「寝れない」「帰れない」実態がニュース報道よりもリアルに感じられました。有事連携は時々訓練をするとよいと感じると同時に、back office の必要性を強く感じました。
- ・ 新興感染症の緊急時の対応が臨場感を持って感じました。感染の状況など予見・予知・予測対応などの重要さも感じました。
- ・ 災害時の対応という考え方が、大変、勉強になった。
- ・ 新興感染症に対する平時からの備え（連携）
- ・ 医療側からの感染症の見方、対応などとても勉強になりました。
- ・ 批判や責任が複数の組織で分配出来ると、緊急時の迅速な判断がしやすいと感じた。
- ・ 病院としての取り組みを知ることができた
- ・ できなくなったら次、と、走りながら対応するしかないと感じた。
- ・ 未知の感染症に対する対策が参考になった。
- ・ 災害モードへの切り替えタイミングの考え方は疑問に思っていたので、わかりやすく説明していただきとても参考になりました。
- ・ 本当に今の生活を見直す必要があると感じました。
- ・ 災害対応としての認識の重要性
- ・ 判断と覚悟
- ・ 救える命を救うためのトリアージ（取捨択）の重要性
- ・ 社会資源と需要のアンバランス
- ・ 「緊急時のニーズと供給のバランス」という考え方が興味深かった。
- ・ 災害・感染症対応についてどう工夫をして対応していたか、わかりやすかった。

横浜市衛生研究所による下水サーベイランスの取組について」

横浜市衛生研究所 微生物検査研究課 ウイルス担当 研究員 小澤 広規 氏

1-3 横浜市衛生研究所の小澤先生には、下水中の新型コロナウイルスの現状と、下水検体の新型コロナウイルス以外の病原体検査への応用について講演頂きました。講演内容は、現在および今後のご活動において参考となりましたか。

	回答数	構成比
大変参考となった	27	38%
参考となった	29	41%
あまり参考とならなかった	7	10%
参考とならなかった	1	1%
その他	7	10%
無回答	0	—
計	71	



<その他の意見>

- ・ ウイルス種や腸内活性度の違いによって、下水からの検体分析によって得られる疫学情報に違いが出

て来ることを考慮して社会感染の程度を議論する重要性が理解できた。下水以外の手法によって、疫学的な感染状況を知る方法の開発が必要かもしれない。

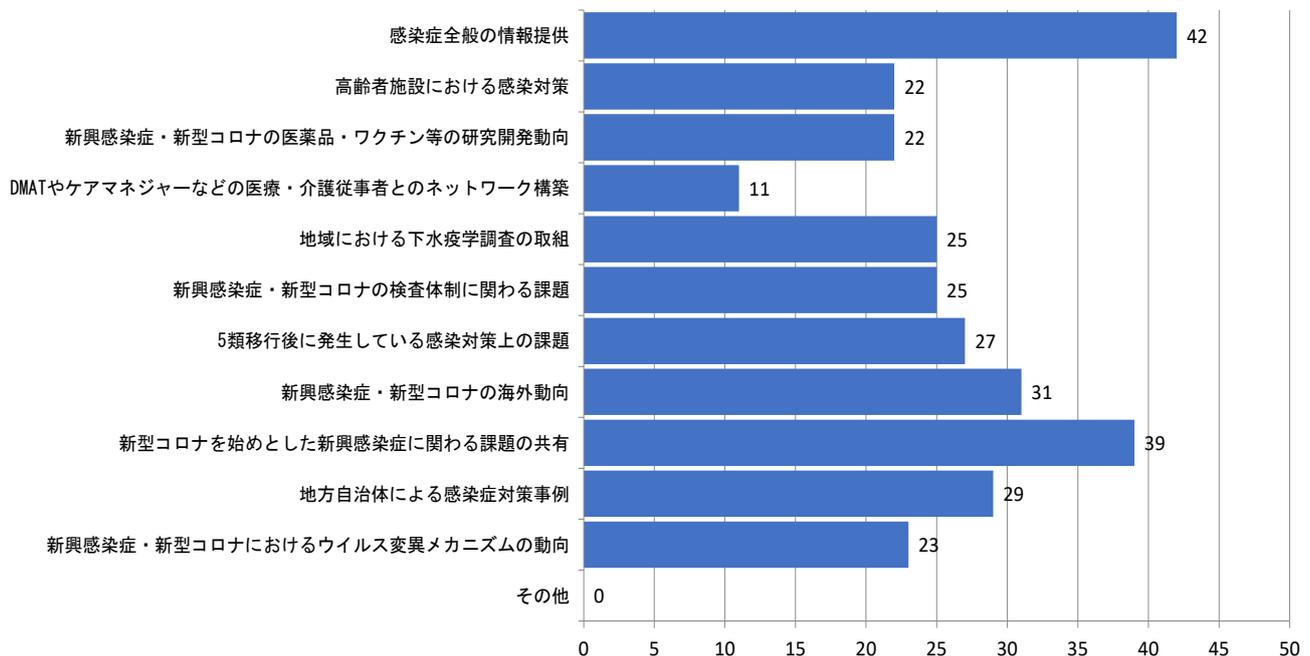
- ・ 下水からの新型コロナウイルスをはじめとした病原体検出により感染症の流行状況が把握できることと、得られたデータの公表に関する取り組み等が非常に参考になった。
- ・ 疫学サーベイランスは今後の公衆衛生の対応に資するものであり、そのためにも測定方法の改良が望まれると理解した。
- ・ 万能というイメージだったが、実際結果判明時には患者は移動している等難しいところもあるというお話を聞いて驚きました。
- ・ 下水サーベイランス検査において、呼吸器系のウイルスよりも腸管系ウイルスの方が検出感度が良いのはイメージ出来ていましたが、今回の講演ではデータでも示されていたのでそれが分かって良かったです。
- ・ 当所の下水検査法の検討を進める上で大変参考になった。具体的な検査や集計結果を知ることができてよかった。
- ・ 下水サーベイランスの今後の立ち位置や、現在行っている自治体の意見がなかったのは残念。なぜ今も行っているかどうかなどの意見が欲しかった。
- ・ 下水サーベイランスの実際、またそのメリットと限界を知ることができ、今後の感染症サーベイランスの手法検討の参考になりました。
- ・ 下水中のウイルス検査、市中感染の広がり度合、予知予見、拡大防止など対策への適応の可能性を強く感じました。インフラストラクチャー強化など必要性を感じました。
- ・ 下水サーベイランスにおける課題について、また調査研究から何を評価できるか、詳細に御説明いただき大変業務の参考となった。
- ・ 下水サーベイランスについて幅広く解説頂いたので、大変参考になりました。
- ・ 公費を用いている以上、Go/No go の判断が必要では？と感じました。
- ・ 感染研、衛研が進めようとしている体系が分かった
- ・ 衛生研究所の取り組み実績とその見解
- ・ どこまで使え、どこが課題なのかについて理解がとても深まりました。
- ・ 下水サーベイランスの難しさ
- ・ 下水中の PCR 検査によるコロナウイルス感染症の拡大状況予測
- ・ 流行状況と下水道ウイルス濃度
- ・ 有効ではあるが、まだ技術的改良の余地のあることが分かりました。
- ・ 下水サーベイランスに対する評価が定まった印象だった。
- ・ 地道な疫学調査は継続するべき
- ・ 様々な検査手法（採水から検査まで）の限界などわかりやすかった
- ・ 下水の可能性について学べた。
- ・ 下水サーベイランスの長所・短所、今後の活用の見通しが参考になりました。"

1-4 その他、講演に対するご意見・ご質問・ご感想がありましたらお聞かせください。

(自由記述)

- ・ 多少、経験のみに重点が置かれすぎた感は否めないが、経験談としては、たいへん興味深い話であった。私も pandemic 時に偶然高齢者施設の感染対策を指導する立場におかれ、手探りでたいへん苦労したので、講演者の話にたいへん共感できるものを感じました。
- ・ 職場での受講であったため、急な要件により中断してしまい、すべてを聞くことができませんでした。「新型コロナウイルス」 Covid-19 を経験し、今後の同様なパンデミック対応など、国としての備えの重要性を強く感じました。ウイルスの変異予測、治療薬、予防薬など対応の強化を望みます
- ・ 国交省や厚労省が感染症対策に向けて今後取り組むべき事項についての講演が聞きたいです。
- ・ 有事が来る前に有事に備えた予算取りをどうするか？というテーマに興味があります。
- ・ 非常に有意義な内容を毎回受講料なしで聴講できることはありがたい。
- ・ 現場の生の声を聴けてよかったです
- ・ 次回も勉強の機会とさせていただきます。
- ・ 大変勉強になりましたが、平日日中の3時間弱は勤務上厳しいものがあります。土曜日の開催、もしくは一回の時間を1時間から1時間30分に収めていただけると嬉しく存じます。

2. 今後のシンポジウムで講演を希望するテーマについて、当てはまるものにすべてチェックして下さい(複数回答可)。



3. JAREC は、今後もシンポジウムの開催を予定しております。今後の開催に際して、希望する講演や事例紹介などのご要望等がございましたら、ご意見をお寄せ下さい。

(自由記述・全角 200 文字以内)

- ・ ウイルス感染症に限らず、人類の最後の戦いは感染症と言われています。感染症が引き金になって脳神経系(パーキンソン、アルツハイマー、など)の疾患が長期の炎症を経て発生しているであろうと

の議論が為されています。その現状を更に知りたいと思います。

- ・ コロナ感染後後遺症 (long COVID) およびコロナワクチン接種後後遺症の現状、わかってきた要因、治療法など。
- ・ 行政側（保健所も含めた）からの情報、生成 AI など新規技術の導入事例、少子高齢化社会での持続可能性、変化への社会的な対応・備えなどの事例など
- ・ 自治体や医療機関の好事例の紹介
- ・ 急性呼吸器感染症サーベイランスへの地方衛生研究所での取り組み
- ・ 本日はありがとうございました。今後もシンポジウムを聴講させていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・ 今後もこのような勉強になる会がありましたら御教示ください
- ・ 内容よりは、設定に要望があります。できれば録画してものをある程度の期間でよいので視聴できる配慮をお願いしたいと思います。
- ・ 聞き逃してしまった研修を再受講したいので、オンデマンド配信についても検討いただけるとありがたいです。

以 上